

夢発電システム 取扱説明書

- 太陽電池モジュール
- パワーコンディショナ
- パワーモニター

もくじ

はじめに

安全上のご注意	1
システムの概要	3
各部の名称とはたらき	4
使用上のお願い	6

はじめてお使いになるときは

システムへのスマートフォン等の接続	7
-------------------	---

システムの運転状況の確認

パワーモニターによる状況確認	9
抑制運転について	11
商用電源が停電した場合	11

システムの運転実績の確認

パワーモニターによる実績確認	12
----------------	----

システム設定内容の確認

パワーモニターによる設定内容確認	15
------------------	----

自立運転について（停電時）

自立運転時の注意点	18
停電になったときは	19

その他

モニタリングシステムについて	20
こんなときは	21
点検とお手入れのしかた	26
アフターサービスについて	27
製品の移設・譲渡・利用の終了について	27
仕様	28

家は、性能。

一条工務店

G R O U P

安全上のご注意

必ずお守りください

確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	実行してはならない内容です。
	実行しなければならない内容です。

■ 取扱いについて

 警告			
 禁止	● パワーコンディショナの前面パネルを外さない。 また、製品の分解や改造をしない。 火災・感電・やけど・けが・故障の原因となります。	 必ず守る	● パワーコンディショナからこげ臭いにおいがするときは、運転を停止して連系ブレーカを「OFF」にする。 そのまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因となります。お問い合わせ窓口にご相談ください。
	● 製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしない。 けが・感電・故障の原因となります。		● パワーコンディショナが浸水した場合は手を触れずに、運転を停止して連系ブレーカを「OFF」にする。 そのまま運転を続けると感電や火災の原因となります。お問い合わせ窓口にご相談ください。
	● 製品に強い衝撃を与えない。 発熱・発火・火災のおそれがあります。		● ペースメーカーなどを使用されている方はパワーコンディショナに近づかない。 ペースメーカーに悪影響を与える原因となります。
	● 製品に水をかけない。 感電の原因となります。		● 太陽電池モジュールが破損や落下したときは、パワーコンディショナの運転を停止して連系ブレーカを「OFF」にする。 停止後はパワーコンディショナや太陽電池モジュールには触れずに、お問い合わせ窓口にご相談ください。
 接触禁止	● 災害発生時や雷鳴時には製品に手を触れない。 感電・けが・やけどの原因となります。		

 注意			
 禁止	● 製品の上に物を置かない。 パワーコンディショナや太陽電池モジュールの天面に物を置いたり、テーブルクロス・タオルなどかけないでください。内部温度が上昇して、火災・故障・寿命低下の原因となります。	 禁止	● 高い温度（45℃以上）でパワーコンディショナを使用しない。 故障や寿命低下の原因となります。
		 接触禁止	● 機器の運転中は温度が上昇するため、不用意に手をふれないでください。やけどの原因となることがあります。特にお子様、お年寄りのいるご家庭ではお気を付けてください。

安全上のご注意（つづき）

■自立運転を行う場合

 警告	
 禁止	● 自立運転用コンセントに以下の製品をつながない。 電源が切れると生命や身体を害したり、財産に損害を受けるおそれのある機器は、ご使用にならないでください。 ● 自立運転用コンセントと家庭内のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。 ● 停電時など必要なとき以外は自立運転用コンセントに電気機器を接続しないでください。

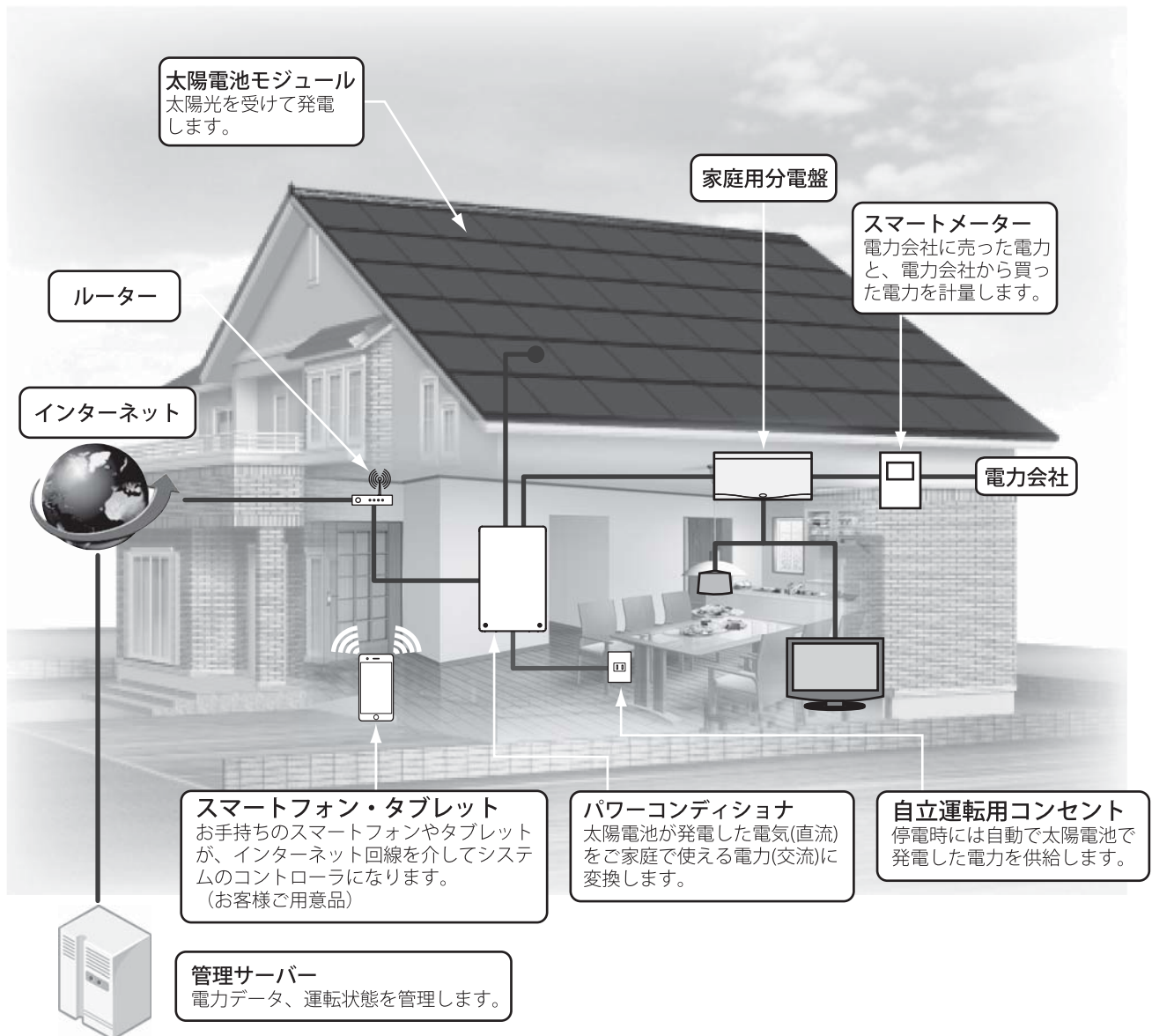
 注意	
 必ず守る	● 自立運転開始後に異臭や異音がした場合は、ただちにパワーコンディショナの運転を停止する。 ● 商用電源が停電すると自動的に自立運転を開始します。 地震等のあとは、運転を停止し、家電製品の安全を確認してからパワーコンディショナの運転を再開してください。 ● 災害時、避難をする場合は安全のため、パワーコンディショナの運転を停止する。 ● 自立運転の最大出力電力はコンセント1口につき1500Wです。使用する機器の消費電力が最大出力を超える場合は運転を停止します。 また、自立運転の最大出力は太陽電池の出力にのみ依存するため、天候により変動します。 ● 自立運転時以外（連系運転時）にも自立運転用コンセントに電気が流れることがあります。 電気の供給が不安定であり、電気機器の故障の原因となる可能性があるため停電時以外は使用しないでください。

■近くではいけないこと

 注意	
 禁止	● ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を近くで使用しない。 火災・故障の原因となります。
	● 殺虫剤などの可燃性ガスを近くで使用しない。 引火し、やけどや火災の原因となります。
	● 水や油の蒸気を製品の近くにさらさせない。 感電・漏電・故障の原因となります。
	● 近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない。 火災・故障の原因となります。

システムの概要

- 太陽電池で発電した電気を宅内負荷に供給したり、電力会社に売ったりします。
- 商用電源停電時には発電した電気を自立運転用コンセントに供給します。
- システムの運転はすべて自動的に制御されますので、日々の操作は必要ありません。



- 専用アプリ「パワーモニター」

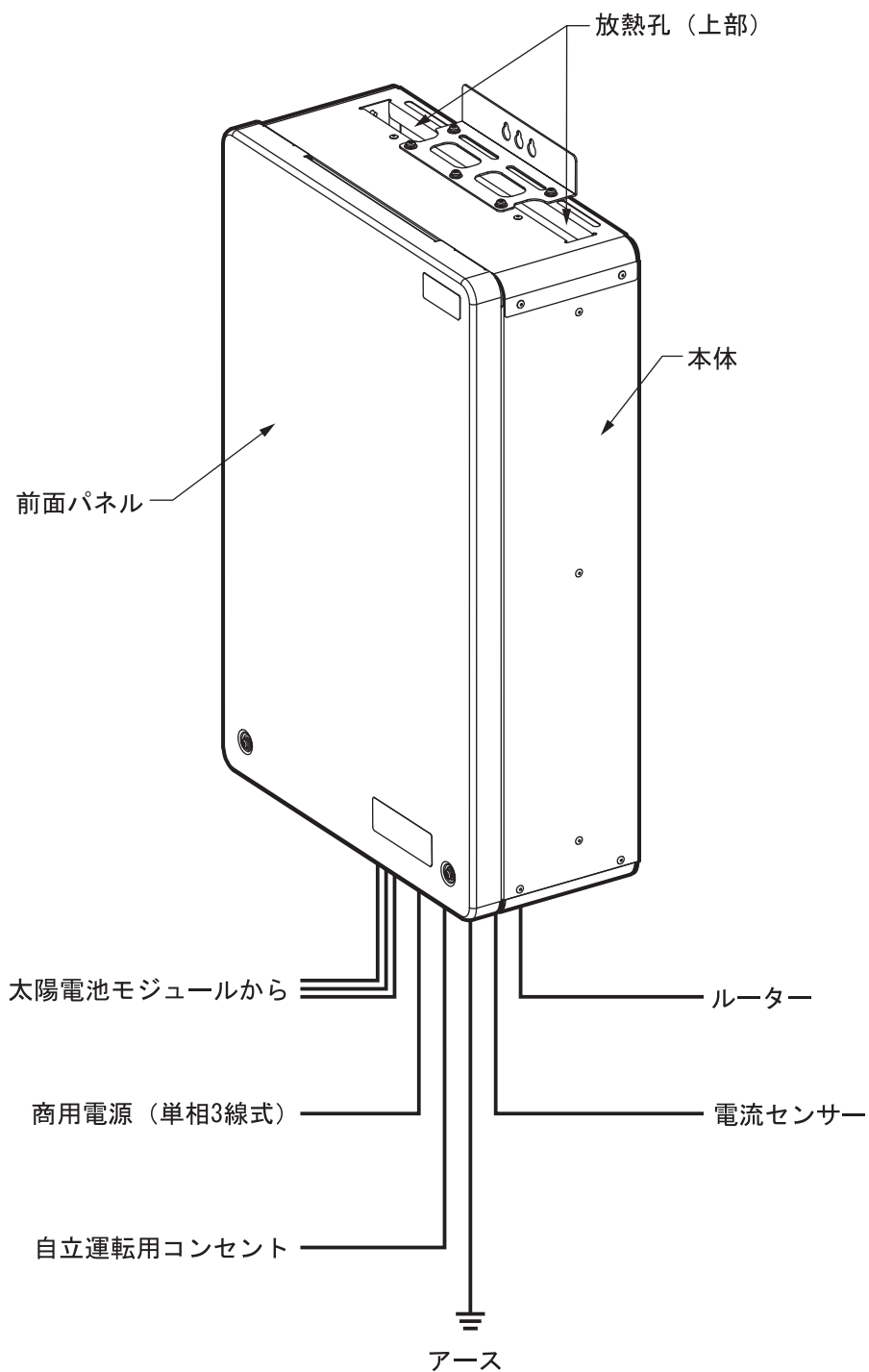


スマートフォンやタブレットの専用アプリ「パワーモニター」を使用してシステムのコントロールや運転状況を確認することができます。
“App Store”、“Google PLAY ストア”からダウンロードが可能です。

各部の名称とはたらき

■ パワーコンディショナ

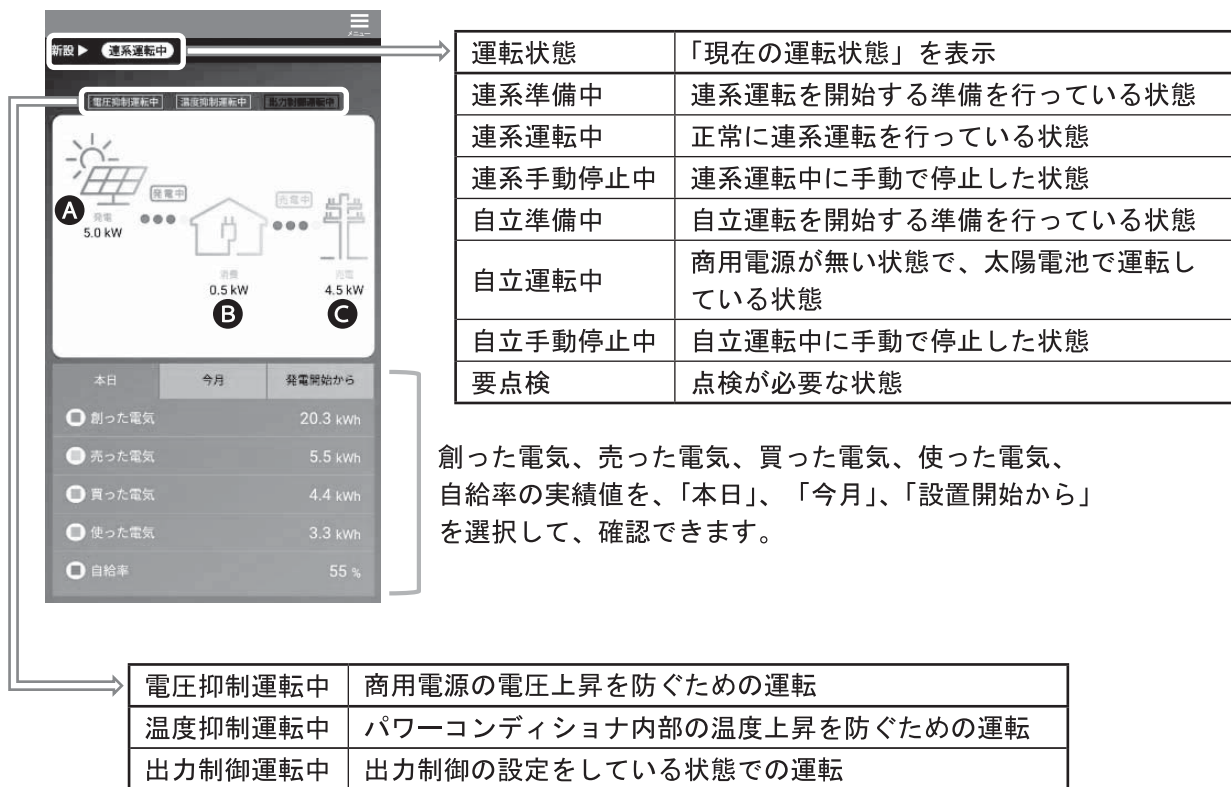
パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで発電した直流電気を交流に変換します。
また、太陽光発電システム全体の運転を管理します。（下図は一例）



■ 専用アプリ「パワーモニター」のトップ画面

トップ画面は、パワーコンディショナ運転中の基本画面です。

ご注意 ● 表示される発電量は、計測誤差が発生するため、メーターと表示が異なる場合があります。



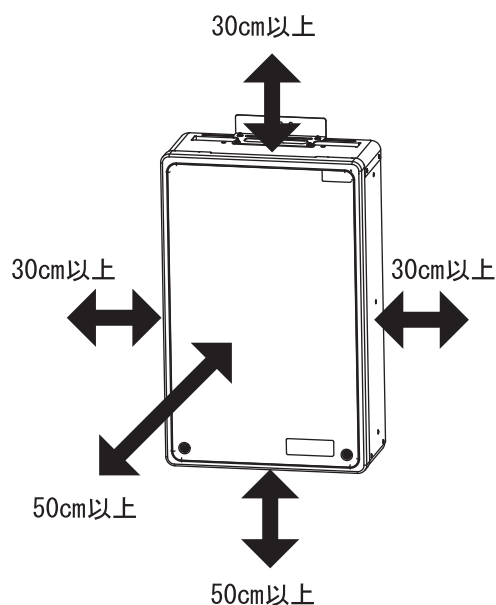
A 現在、太陽光によってシステムが発電している電力を表示します。

B 現在、家庭内で使用している電力を表示します。

C 商用電源に逆潮流しているときは「売電中」、商用電源を購入しているときは「買電中」と表示します。

使用上のお願い

- パワーコンディショナの周辺は以下の状態にしてください。
 - 油煙・ほこりが少ないこと
 - 腐食性ガス・液体がかからない状態
- 電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品をパワーコンディショナの近くで使用しないでください。
 - 電気製品の正常な動作ができなくなる原因となります。
- パワーコンディショナの前面は周囲には、点検スペースおよび放熱スペースとして、以下のスペースを確保してください。
- 受信障害を避けるため、ラジオ・携帯電話の通話機能などは機器の近くでご使用にならないでください。
- テレビおよびアマチュア無線のアンテナが近くにある場所への設置を行わないでください。



- 毎日の運転操作は不要です。
 - 一度運転を開始させると、自動的に運転します。
 - 夜間や雨天時の発電不足で、パワーコンディショナの出力が足りないときは、従来どおり、商用電源(電力会社)から家庭に自動的に電力が供給されます。
 - 昼間でも電力会社の商用電源が停電したときは、売電できません。

はじめてお使いになるときは

■ システムへのスマートフォン等の接続

お客様のスマートフォン等をシステムコントローラにします。

(スマートフォンやタブレットを以下、スマートフォン等という)

- ① インターネット回線に接続可能なスマートフォン等を用意してください。
- ② ルーターの電源が「OFF」であれば、「ON」にして、インターネット回線に接続してください。
- ③ “App Store” または、“Google PLAY ストア” からスマートフォン等の専用アプリ「パワーモニター」と「一条工務店 住まいのサポートアプリ」(以下、i-サポという)をダウンロードし、インストールしてください。



パワーモニター



i-サポ

- ④ 「i-サポ」アプリを起動しログインしてください。ユーザーID、パスワードは別途送付しています、【住まいのサポートアプリ「ユーザーID・初期パスワード発行の通知」】をご参照ください。
- ⑤ 「i-サポ」の「パワーモニター」をタップすると「パワーモニター」アプリが起動します。「i-サポ」から「パワーモニター」アプリを開くことにより、SSIDとパスコードが自動的に設定されパワーコンディショナに接続し、スマートフォン等によるパワーコンディショナの操作が可能になります。



※スマートフォン等の設定でVPN設定を行っているとは接続できませんので、設定を解除してください。

※Android端末とiphoneに対応しています。他のOS (Windows等) やパソコンには対応していません。

はじめてお使いになるときは（つづき）

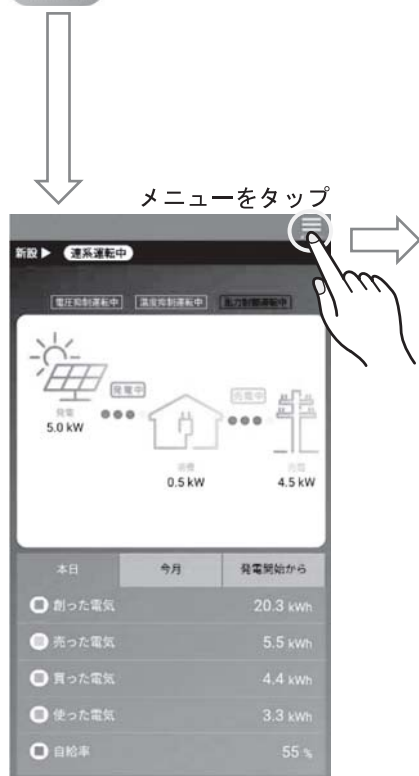
■「パワーモニター」メニューの構成

- 「現在の発電状況」、「実績」、「設定」、「無線LAN設定アシスト」が表示されます。
さらに、選択したい項目をタップするとそれぞれサブメニューが表示されます。

アプリを起動



2回目以降の「パワーモニター」の起動は、「i- サポ」からも「パワーモニター」からも可能になります。



メニューをタップ



システム運転状況
・運転状況表示
・運転実績表示

実績
電力量グラフ
出力制御情報※
出力制御グラフ※

設定
日時
ネットワーク設定
機器情報

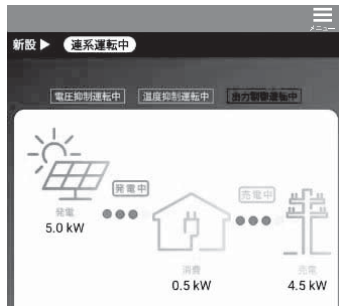
無線LAN設定アシスト
SSID
パスコード

※出力制御設定がされている場合のみ表示します。

システムの運転状況の確認

■ パワーモニターによる状況確認

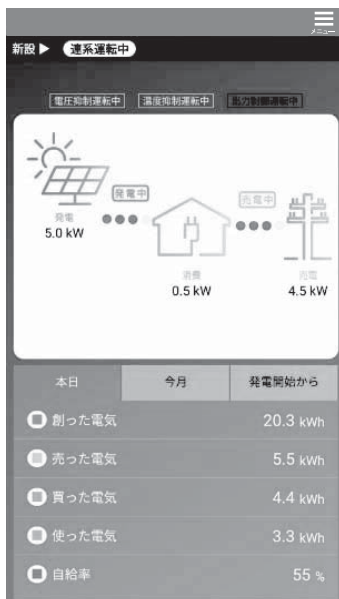
- ① パワーモニターを起動してください。
- ② 現在の発電状況の画面が表示されます。



③ 現在のシステム運転状態の確認

トップ画面は、画面上方にシステム構成をグラフィック表示しています。

ここでは、現在の運転状態を電気の流れで示し、太陽電池の発電状態、売買電状態の確認ができます。画面下方には、システムの運転実績を示しており、画面中央の「本日」、「今月」、「発電開始から」の選択肢（ボタン）から選択ができます。

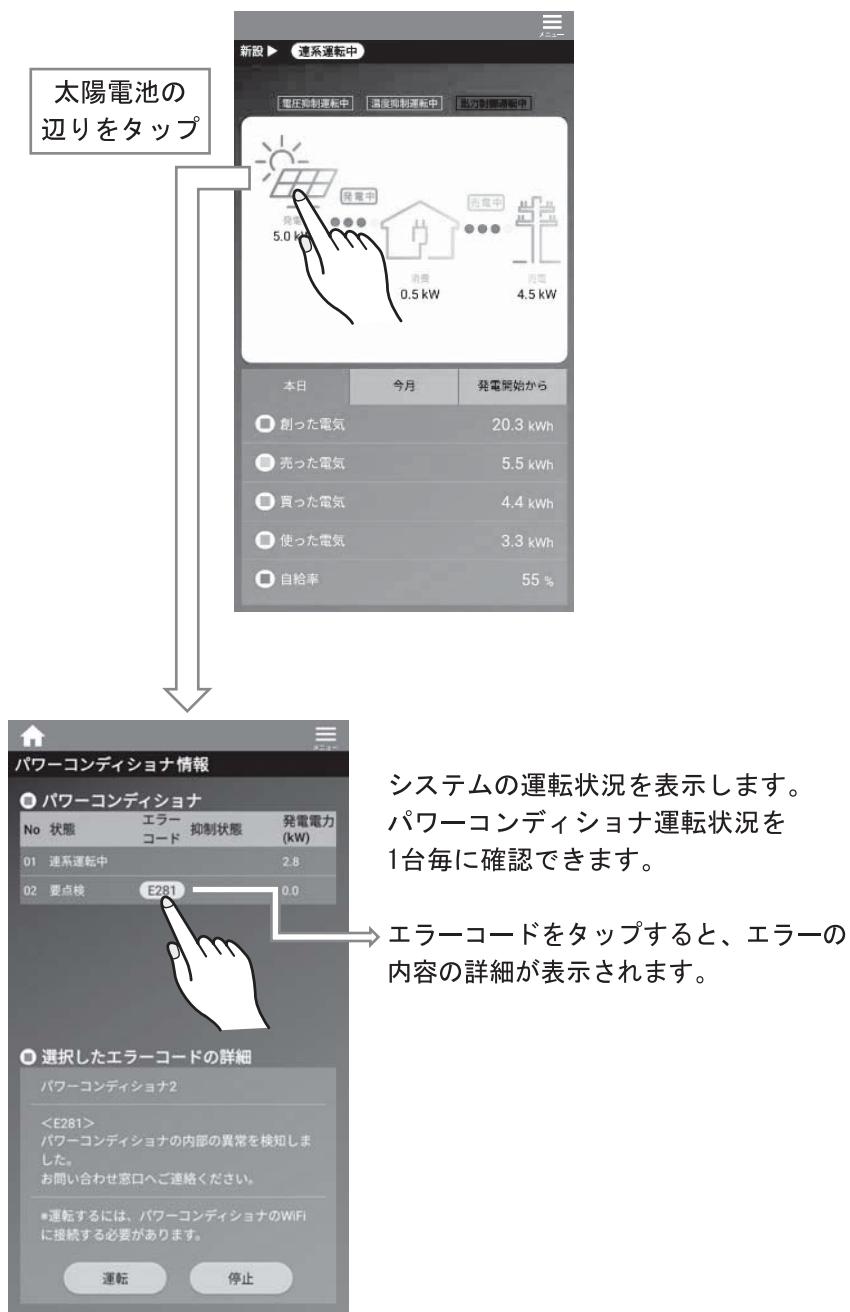


システムの構成機器の動作状態、および電気の流れをグラフィック表示し、システムの運転状態が確認できます。

創った電気、売った電気、買った電気、使った電気、自給率の実績値を、「本日」、「今月」、「設置開始から」を選択して、確認できます。

システムの運転状況の確認（つづき）

パワーコンディショナ画面の「太陽電池」をタップすると、システムの各パワーコンディショナの情報が確認できます。エラーコードが表示されている場合、エラーコードをタップすると、エラーの詳細を表示します。



システム（パワーコンディショナ）
の情報画面

■ 抑制運転について（画面の表示と運転の状態）

●「電圧抑制」

商用電源の電圧上昇を防ぐため、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えています。

商用電源の電圧が正常に戻ると、「電圧抑制」の表示は消えます。

●「温度抑制」

パワーコンディショナの内部温度が規定値以上になると内部の機器を保護するため、出力を一時的に抑えています。温度が正常運転範囲に戻ると出力の抑制が解除され、表示は消えます。

⇒「電圧抑制」、「温度抑制」が頻繁に表示されたり、長時間消えない場合、お問い合わせ窓口にご相談ください。

●「出力制御」

出力制御が必要な場合には、サーバーからの通信により自動で出力制御の設定がされます。

出力制御の設定がされている場合には、トップ画面には常に「出力制御運転中」の表示がされます。

電圧抑制とは

多くの家庭が一斉に電気を使うと、電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなる場合があります。逆に電気の使用量が減ると、電圧が高くなる場合もあります。商用電源の電圧が設定値（電力会社による指定値が設定されています）を越えた場合、商用電源の電圧上昇を抑制するために、発電電力量を抑える制御を行います。

出力抑制とは

電力会社からの指示で、電力会社管内の電力の需要と供給のバランスを取るために、パワーコンディショナの出力を抑えている状態をいいます。

出力制御をするスケジュールは、電力会社からインターネットを通じてパワーコンディショナにデータが送られています。

■ 商用電源が停電した場合

商用電源の停電が発生し自立運転に切り替わると、パワーモニターにお知らせが表示されます。

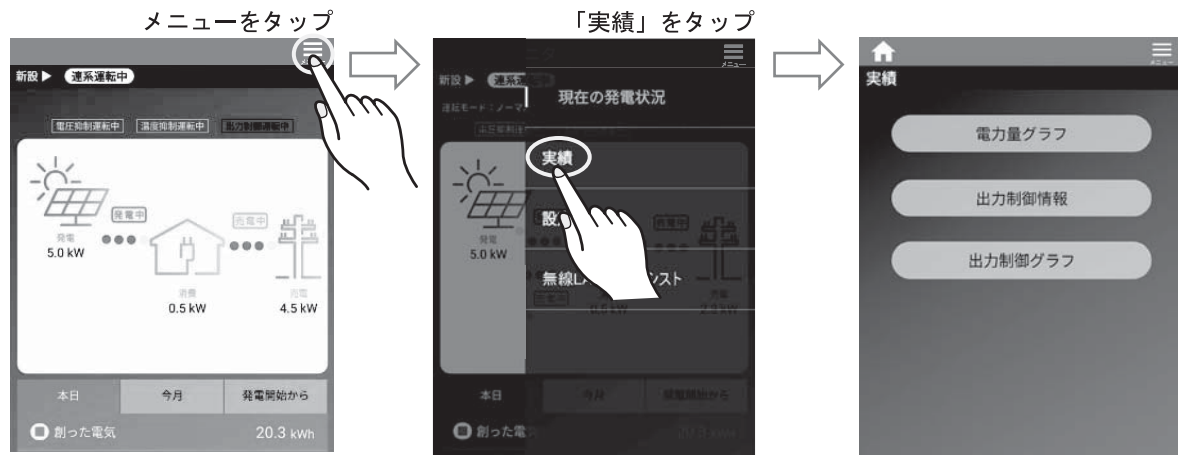
商用電源が停電した場合、パワーコンディショナは一時的に運転を停止し、約10秒後に自動で自立運転に切り替わり電力供給を行います。商用電源が正常に戻れば約10秒後に自動的に商用電源との連系運転を再開します。アプリの操作で「運転／停止」をタップする必要はありません。

（👉 19ページ参照）

システムの運転実績の確認

■ パワーモニターによる実績確認

- ① パワーモニターを起動してください。
- ② メニューから「実績」をタップしてください。



「出力制御情報」「出力制御グラフ」のメニューは出力制御の設定がされている場合のみ表示されます。

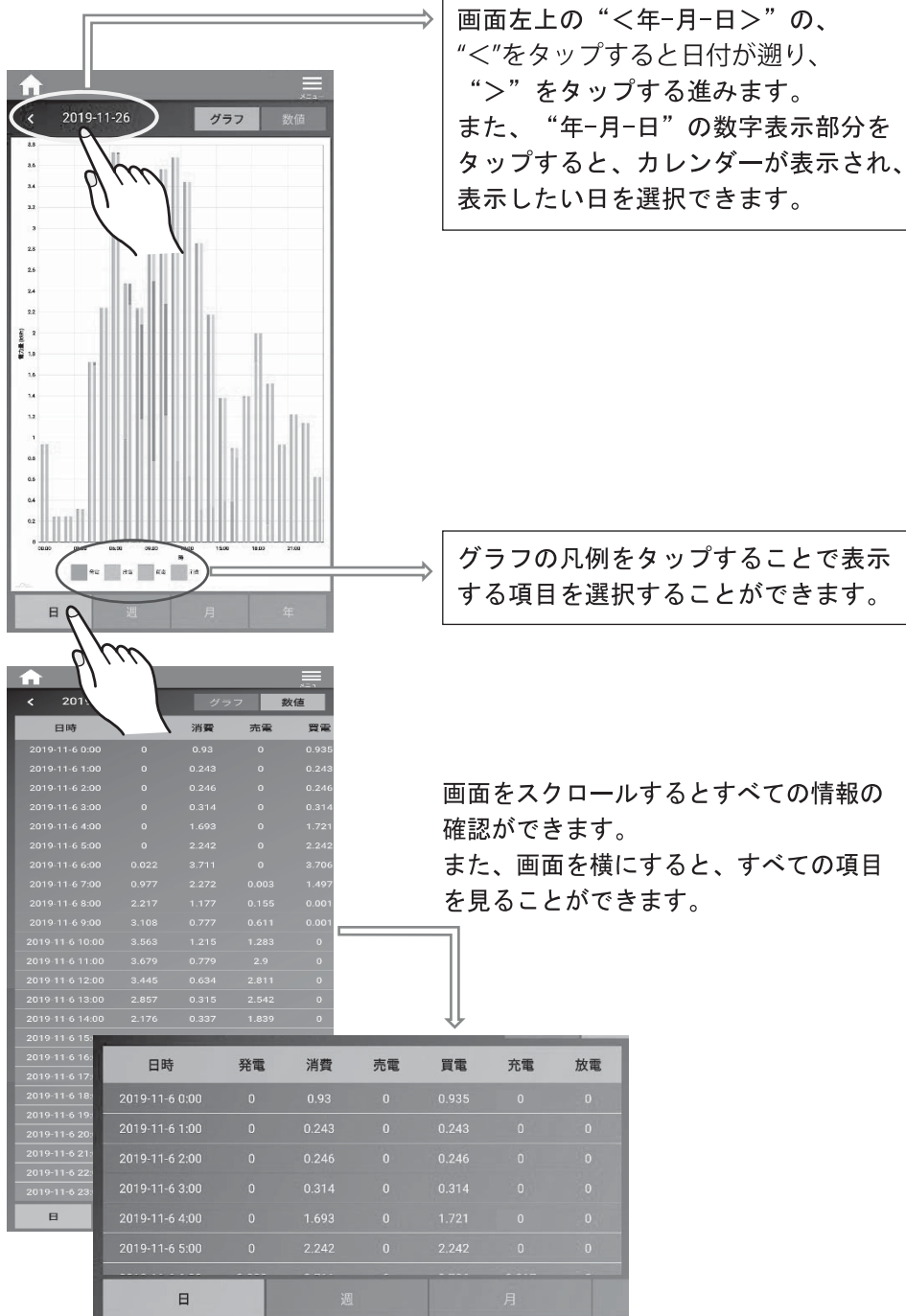
期間	表示内容
1時間単位	過去60日分 (61日以前のデータは「1日単位」のデータに書き替えられます)
1日単位	過去15年分 (16年以前のデータは消去されます)
1ヶ月単位	過去15年分 (16年以前のデータは消去されます)

■ 電力量グラフ

「電力量グラフ」を選択し、画面下の「日」をタップすると、システムの発電、消費、売電、買電、の各実績値を表示します。

画面右上の「グラフ」をタップするとグラフ表示、「数値」をタップすると表形式で表示します。

画面下の日、週、月、年をタップすると、各々の単位で表示します。



「日」をタップした場合の表示

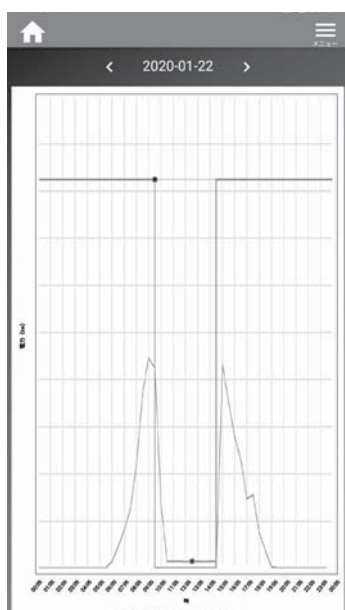
システムの運転実績の確認（つづき）

■ 出力制御情報

スケジュール運用		更新
固定スケジュール有効期限	2019-04-01 00:00:00 – 2020-03-31 23:30:00	
更新スケジュール有効期限	2020-01-22 10:00:00 – 2020-01-22 17:00:00	

- 出力制御に関する情報を表示します。
出力制御の設定がされている場合のみ表示されます。

■ 出力制御グラフ



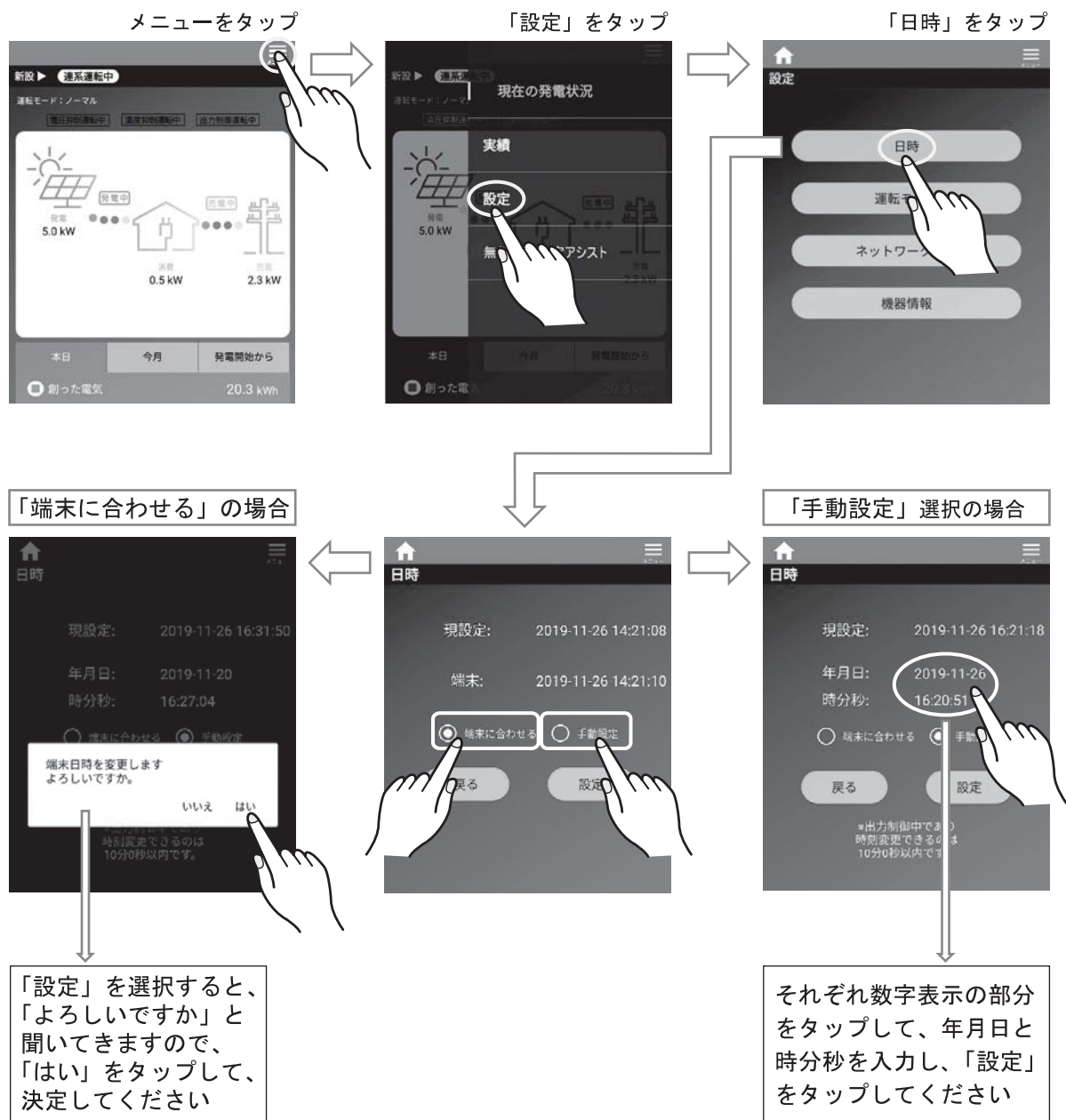
システム設定内容の確認

■ パワーモニターによる設定内容確認

- ① パワーモニターを起動してください。
- ② メニューから「設定」をタップしてください。

■ 日時

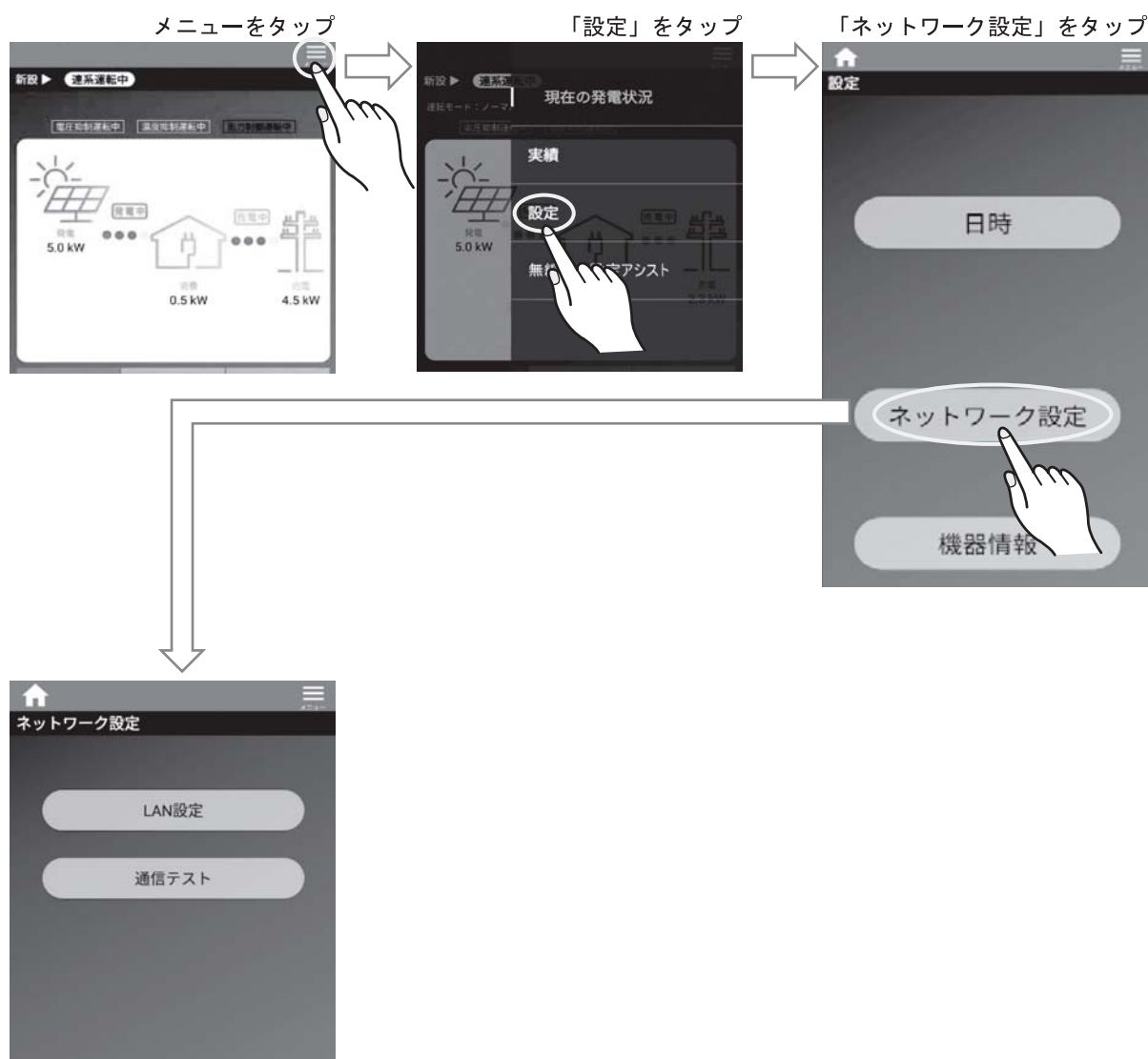
- お引渡し時に日時は既に設定されています。
- 日時設定を行うためにはパワーコンディショナの無線LANに直接接続する必要があります。
(☞ 22ページ参照)
- パワーコンディショナがインターネットに接続されている時は、自動的に時刻合わせを行いますので、日時設定操作は不要です。
- 「手動設定」において誤った日時を設定された場合、誤った日時を設定してから正しい日時に自動更新されるまでの記録データは消去されます。



システム設定内容の確認（つづき）

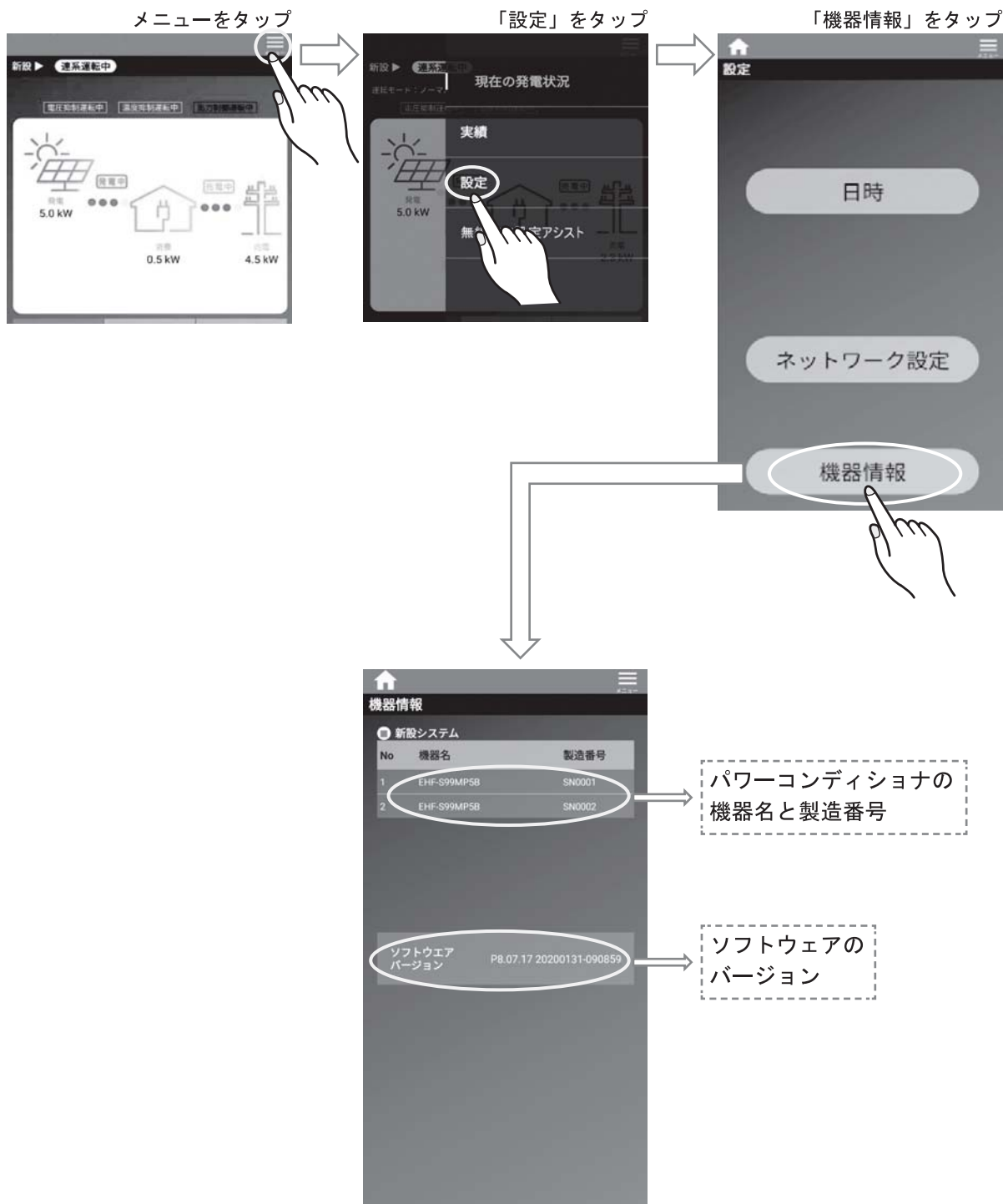
■ ネットワーク設定

- ネットワーク設定を行うためにはパワーコンディショナの無線LANに直接接続する必要があります。
（☞ 22ページ参照）
- 「LAN設定」
ご利用のルーターの設定に合わせて、DHCPもしくは固定IPアドレスを選択し、必要な項目を入力して設定することができます。
- 「通信テスト」
ソフトウェア更新サーバーとの通信確認を行うことができます。通信テストの結果が「通信OK」であれば問題ありません。「通信NG」である場合、LANケーブルの接続状況やルーターの電源を確認してください。解決されない場合はお問い合わせ窓口にご相談ください。



■ 機器情報

- 接続されているパワーコンディショナの機器名、製造番号、およびソフトウェアのバージョンを表示します。



自立運転について（停電時）

■ 自立運転時の注意点

- ① 商用電源が停電したとき、パワーコンディショナは自動的に連系運転から自立運転に切り替わります。
自立運転に切り替わることで、自立運転用コンセントを使用することができます。
- ② 使用できる電力には限りがあります。
自立運転用コンセントには、自立運転出力（最大1500W）の電気が供給されます。
使用する電気機器の消費電力の総計が自立運転の最大出力を超えた場合、自立運転出力は保護回路が働き停止します。
このような場合、使用する電気機器を減らすか、電気機器の設定を低消費電力モードにするなど、調整をお願いします。約10秒後に自動的に自立運転を再開します。
- ③ 自立運転開始時、電気機器の起動する電力が大きい場合、運転を停止します。
自立運転時に大型空調機、大型洗濯機、ポンプ負荷等をご使用の場合、起動する電力が大きくなるため運転を停止する場合があります。
このような場合、使用する電気機器を減らすか、電気機器の設定を低消費電力モードにするなど、調整をお願いします。自動的に運転を再開します。
- ④ 自立運転中に使用している電気機器が途中で使えなくなる場合があります。
自立運転は太陽電池出力を利用します。そのため、日射不足による太陽電池の出力状態によって、自立運転出力が不安定になることがあり、出力が低下すると自立運転は自動的に停止します。
- ⑤ 本製品には無停電電源装置（UPS）機能を備えていません。
商用電源が停電した場合、本装置は一時的に運転を停止し、約10秒で自立運転に切り替わり電力供給を行います。商用電源が正常に戻ればカウントダウン後に自動的に商用電源との連系運転を再開します。（運転／停止ボタンを操作する必要はありません）UPS機能が必要な電気機器には使用しないでください。
- ⑥ 自立運転時以外（連系運転時）にも自立運転用コンセントに電気が流れることがあります。
通常の宅内コンセントと同様に使用することがありますが、電気の供給が不安定であり、電気機器の故障の原因となる可能性があるため停電時以外は使用しないでください。

■ 停電になったときは

① 商用電源が停電すると、自動的に連系運転から自立運転に切り替わります。

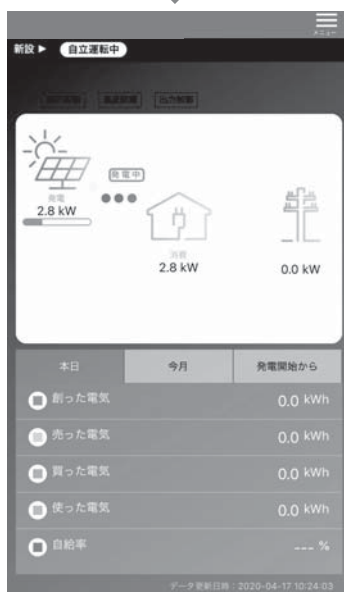
② 停電時の運転状況の確認方法

[方法1] パワーコンディショナをインターネット回線に接続するために、ルーターの電源を延長ケーブルを用いて自立運転コンセントにつなげ、パワーモニターを起動します。

[方法2] パワーコンディショナ本体の無線LANに接続し、一条パワーモニターを起動します。
パワーコンディショナ本体の無線LANへの接続方法は（ 22ページを参照ください。）



アプリを起動



■ 商用電源が復電したときは

① 自動的に連系運転に切り替わります。

② 自立運転用コンセントにつないでいた電気機器をもとのコンセントにつなぎ直してください。

■ ご注意

- 連系運転時にも自立運転用コンセントに電気が流れることがありますが、停電時以外は使用しないでください。

モニタリングシステムについて

■ サービス内容

① 運転状況のモニタリング

管理センターで異常運転情報を受信した場合は、お問い合わせ窓口よりお客様に修理・点検の連絡を致します。

② 発電状況の記録・保存

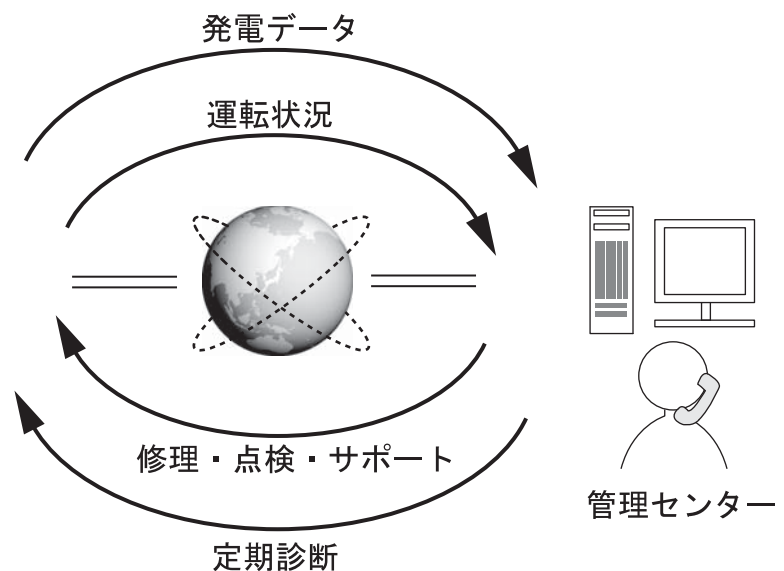
管理センターでは詳細な発電記録を保存します。



夢発電システム



スマートフォン等で発電量や
消費電力などを確認



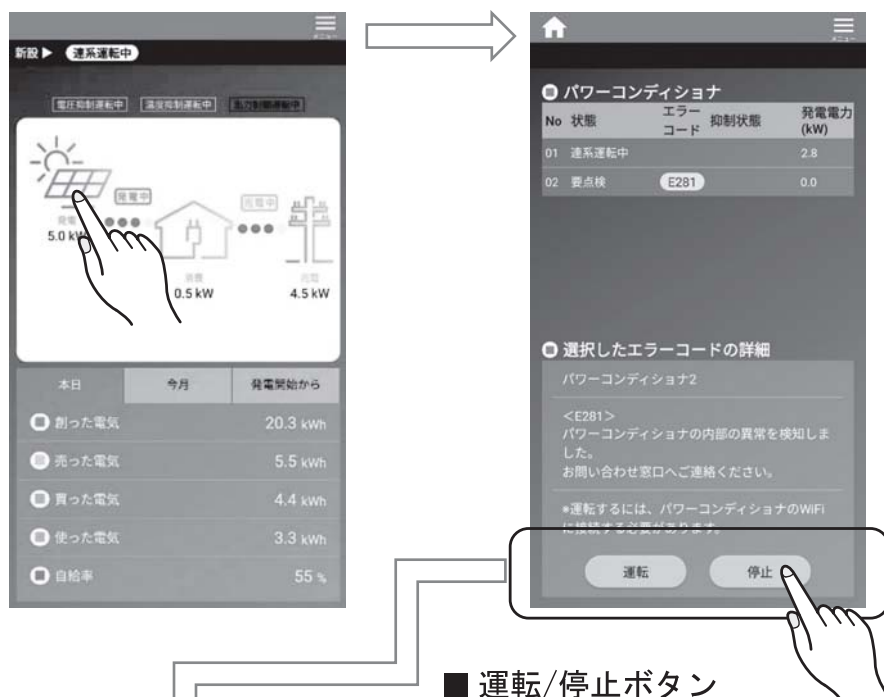
- モニタリングシステムはインターネット回線を使用します。
- スマートフォン等の通信費はお客様負担になります。
- モニタリングシステムのサービスのご利用は無料です。
- 電波の受信状況が悪いなど環境により通信できない場合があります。
- 送信されるデータにはお客様の個人が特定される情報は含まれておりません。安心してご利用ください。

こんなときは

■ パワーコンディショナの緊急停止方法

パワーモニターのトップ画面で、「太陽電池」の辺りをタップすると、「運転/停止」操作ができる画面にアクセスできます。

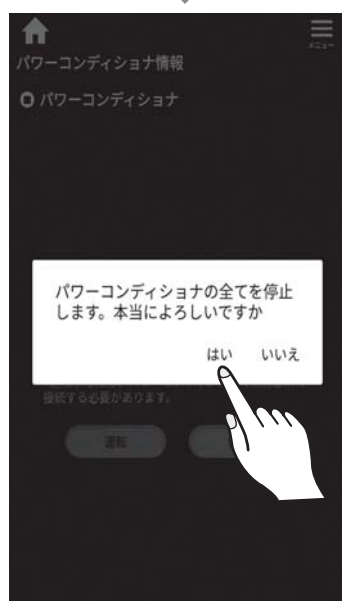
太陽電池の
辺りをタップ



■ 運転/停止ボタン

パワーコンディショナの「運転」と「停止」です。停止は、ルーターからインターネット接続されている状態であれば「停止」をタップして、確認画面で「はい」をタップすれば、停止します。

尚、商用電源が停電している状態で、日射がないため太陽電池の出力がない場合、「運転/停止」操作は無効となります。



- 本システムは特別な場合を除き、「運転/停止」操作は必要ありません。
下記の理由により必要が無い場合に「停止」はしないように、ご注意ください。
- 運転開始操作を行うにはパワーコンディショナの設置場所まで行き、スマートフォン等をパワーコンディショナ本体の無線LANに接続して、「運転」をタップする必要があります。(☞22ページ参照)

■ パワーコンディショナの手動による運転開始方法 （必ず異常が解決されてから運転してください）

- ① パワーモニターで「メニュー」→「無線LAN設定アシスト」の順にタップし、表示されたSSIDとパスコードをお手元に控えてください。
この時、スマートフォン等はインターネットに接続している必要があります。その後、一度アプリを閉じてください。



- ② パワーモニターをインストール済のスマートフォン等を持って、パワーコンディショナの前方へ移動してください。※
- ③ 無線LAN接続を行う前にスマートフォン等の「機内モード」設定を「ON」にします。
- ④ スマートフォン等のWi-Fi設定で利用可能なネットワークを表示させ、①で控えていたSSIDと同じネットワークを選択し、タップしてください。
- ⑤ パスコードの入力が要求されたら、パスコードを入力し、「接続」をタップしてください。
- ⑥ パワーコンディショナ本体の無線LANとスマートフォン等の接続が完了後、パワーモニターを再起動してください。

※パワーコンディショナの手動運転について

パワーコンディショナを手動で「運転」するには、電気用品技術基準の解釈別表第八1「共通事項」、および、JIS C4412-2「遠隔操作機構を有するもの」の規定により、パワーコンディショナ本体の前方での操作が必要となります。尚、パワーコンディショナの手動による「停止」は、宅内のWi-Fiとの通信で可能です。

ご注意

- 運転状態を確認するまでは「機内モード」の状態にします。
- パスコードには「I（アイ）」「O（オー）」は使用していません。

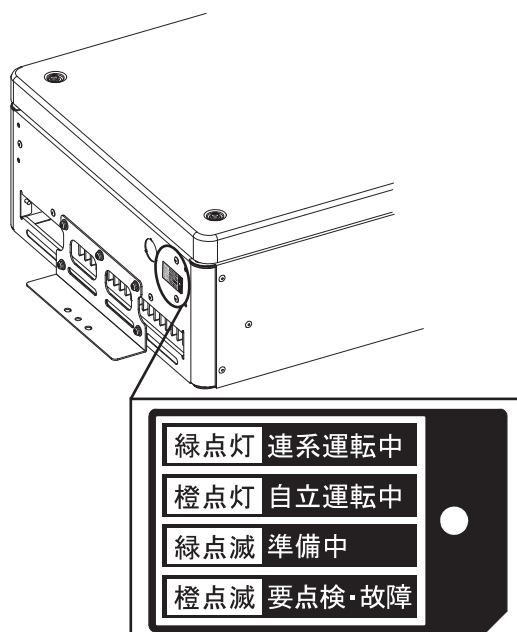
- ⑦ パワーモニターのトップ画面の「太陽電池」をタップし、パワーコンディショナ情報が確認できる画面を表示させます。
- ⑧ 「運転」をタップし、確認画面で「はい」をタップすると、「連系準備中」になって約5分後に「連系運転中」となり運転をはじめます。（パワーコンディショナ底面の表示LEDが緑点灯(連系運転中)または橙点灯(自立運転中)します。）
- パワーコンディショナの運転が始まると、システムの運転状態を確認することができます。



<参考>

パワーコンディショナの運転状態の表示について本システムの運転状態は、パワーコンディショナ本体の底面右方向のLEDで表示をしています。

項 目	PCS底面 LED表示
電源断 連系手動停止中 自立手動停止中	LED消灯
故障	LED「橙」点滅
連系準備中 自立準備中	LED「緑」点滅
自立運転中	LED「橙」点灯
連系運転中	LED「緑」点灯



■ システムの不具合が発生したときの確認方法

システムで何らかの不具合が発生した場合は、パワーモニターのトップ画面に赤字で「要点検」と表示します。「要点検」をタップするとメッセージコードとその内容、および対処方法を表示しますので、表示内容に沿って対応してください。



■ メッセージコード一覧

メッセージ	内容	メッセージコード
通信制御ユニットの異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	ACC内部異常	A111
出力制御の固定スケジュールの取得に失敗しました。 インターネット環境をご確認ください。	固定スケジュール取得失敗	A412
出力制御の固定スケジュールの有効期限が残り60日以内となりました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	固定スケジュール有効期限切れ警告	A511
有効な出力制御の固定スケジュール、更新スケジュールがありません。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	出力制御スケジュール有効期限切れ	A512
パワーコンディショナの内部の異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	PV-DCDCヒューズ切れ スtring1	D611
	PV-DCDCヒューズ切れ スtring2	D612
	PV-DCDCヒューズ切れ スtring3	D613
	PV-DCDCヒューズ切れ スtring4	D614
	PV-DCDCヒューズ切れ スtring5	D615
パワーコンディショナの内部の異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	直流過電圧	E151
商用電源の異常を検知しました。 5分経過しても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	交流過電流実効値	E211
	交流過電流	E221
	直流分漏洩	E231
パワーコンディショナの内部の異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	漏洩電流1	E281
	内部ファンエラー	E621
	EEPROMS異常 データ異常	E641
	EEPROM異常 通信異常	E643
パワーコンディショナの内部の異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	AC端子台温度異常	T611
	DC端子台温度異常	T612
	リレー溶着検出	T621
	リレー溶着検出タイムアウト	T622
しばらく経っても運転しない場合はお問い合わせ窓口へご連絡ください。	CTユニット異常	T631
パワーコンディショナの内部の異常を検知しました。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	サーミスタオープン	T641
	サーミスタショート	T642
	パワーコンディショナ内部異常1	T651
パワーコンディショナと通信できません。 お問い合わせ窓口へご連絡ください。	PCS通信異常継続	Z521

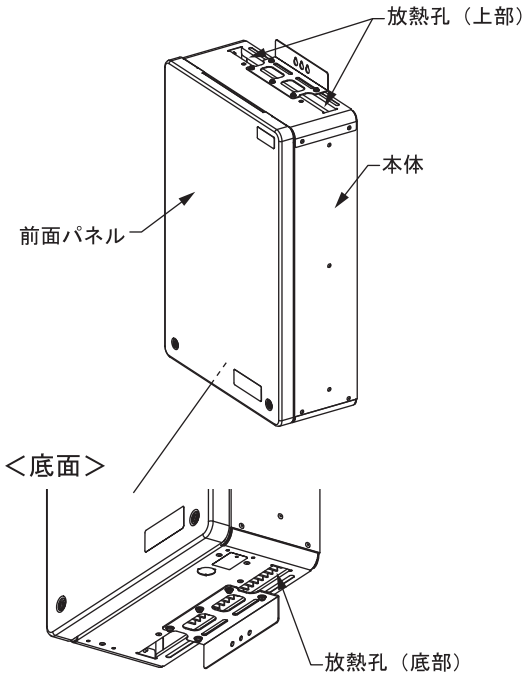
ご注意

- メッセージコードは他にもありますが、この表では対処が必要なものを掲載しています。

点検とお手入れのしかた

■ 通常の点検

● 事故を防止するため、下記点検を必ず行ってください。

点検項目	対処方法
放熱孔が、ほこりや物でふさがっていませんか。 	必ずパワーコンディショナの運転を停止させ、機器の温度が完全に冷えてから、「お手入れのしかた」（下記）にしたがって、ほこりや物を取り除いてください。

※起動時や発電電力が大きいときに、運転音が少し大きくなることがありますが、故障ではありません。

■ お手入れのしかた

パワーコンディショナ

パワーコンディショナの表面が汚れたときは、乾いた布などでからぶきをしてください。

ご注意 ● ベンジン、シンナーや油系の洗剤を使用しないでください。
また、水をかけないでください。

太陽電池モジュールのガラス表面

通常の汚れ程度は発電に影響ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがガラス表面に着いて著しく汚れた場合は、発電効果が下がり、発電量が少なくなります。この場合は、お問い合わせ窓口にご相談ください。



ご注意 ● 屋根の上など高所に設置されている太陽電池モジュールの点検やお手入れは特に危険です。ご自身で行わず、お問い合わせ窓口にご相談ください。

アフターサービスについて

■ 修理依頼に関して

●ご連絡の際は、次の項目をお知らせください。

- ・お客様名、ご住所、お電話番号
- ・保証開始日（工事完了日）
- ・故障の様子、メッセージコード

●保証期間中：

保証書の規程に従って当社が修理させていただきます。

なお、保証期間中でも有償となる場合がありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

●保証期間が過ぎているときは：

修理によって使用が可能な場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。

■ 不具合発生時のお願い

システムに異常を確認した場合は、速やかに運転を停止して、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切って、技術者の訪問をお待ち下さい。

■ 使用方法のご相談に関して

使用方法など、メンテナンス以外の各種お問い合わせは担当展示場までご連絡ください。

製品の移設・譲渡・利用の終了について

■ 本製品の修理や移設、再設置が必要となる場合のおねがい

お客様自身による本製品の修理や移設、再設置は絶対に行わないでください。また、このような作業が必要となる場合には、お問い合わせ窓口にご相談ください。

本製品は、運転を停止してもパワーコンディショナ本体には電圧が残っていますので、感電やけがのおそれ、火災、パワーコンディショナの故障の原因になります。

■ 本製品の使用を終了するなどの場合の電力会社へのご連絡のおねがい

本製品は、系統連系を行うシステムのため、以下のような場合には、お客様ご自身が契約されている電力会社に届出を行う必要があります。

詳しくは、お問い合わせ窓口にご相談ください。

【電力会社への連絡が必要となる場合の例】

- ①本製品の建物からの取り外しや移設を行う場合
- ②建物の譲渡に伴う電力会社との契約者名義変更が発生する場合
- ③本製品の使用を終了する場合

仕様

■ パワーコンディショナ

		EHF-S55MP3B-HR	EHF-S80MP4B-HR	EHF-S99MP5B-HR
太陽電池入力	入力運転電圧範囲	DC30～450V		
	最大入力電圧	DC450V		
	入力数	3	4	5
	1回路あたりの最大入力電力	2150W		
	1回路あたりの最大入力電流	10.3A		
連系入出力	定格出力電圧	202V		
	定格出力電流	27.5A	40.0A	49.5A
	定格出力容量	5.5kW	8.0kW	9.9kW
	定格周波数	50/60Hz		
	定格電力変換効率	96.0%（定格出力時）		
自立出力	定格出力電圧	AC101±6V		
	定格周波数	50/60Hz±1%		
	定格出力電力	自立運転用コンセントより1500W		
騒音（定格）		40dB以下（周囲温度40℃連続運転）		
使用周囲温度		-20～45℃		
使用周囲湿度		90%RH以下（結露なきこと）		
本体質量		30kg	33kg	33kg
寸法		幅445mm×高さ698mm×奥行198mm （壁掛金具・突起部は除く）		

※上記仕様は規定の試験条件により計測しています。

家は、性能。

一条工務店

G R O U P